

GLP厚木Ⅱ整備事業 認証評価書の内容

1 事業の概要

事業の名称	GLP厚木Ⅱ整備事業
事業の実施者	グローバル・ロジスティック・プロパティーズ株式会社
事業の実施区域	愛甲郡愛川町中津字桜台4022番2、4041番1
事業の規模	延べ床面積：89,242㎡

2 環境共生の取組の評価結果

代表指標	取組の評価結果
緑化率	22.8%
エネルギー削減率	BEI 0.47
CO ₂ 削減率	17.5%

個別指標	取組項目数	目標項目数
目標1	4	4
目標2	9	8
目標3	3	2
目標4	3	3

3 環境共生の取組の継続・維持管理方針

本認証評価書に掲げる環境共生の取組については、「県央・湘南都市圏環境共生モデル都市づくり推進要綱」の趣旨を踏まえ、適正に継続・維持管理が図られるよう努めるものとする。

また、本事業により整備する施設等を譲渡などにより第三者へ承継する場合、承継する者に対し、本認証評価書に基づく環境共生の取組を可能な限り継続していくよう通知するとともに、速やかに県に対して申し出るものとする。

4 環境共生の取組の実施内容

【目標1】自然が有する機能・魅力を生かした都市づくり

分野	実施項目（個別指標）	実施内容
土地	既存の樹林地、草地、水面、農地等を保全する	・ 敷地北側及び西側のメタセコイアを中心とした並木道を保存し、地域の景観を継承している。
みどり	地域・地区の特性、生態系に配慮した緑地を整備する	・ 神奈川県土に適した樹木であるシラカシ、ケヤキ、イロハモミジ等を植樹する。
	道路との敷地境界に生垣や緑地緩衝帯などを整備する	・ 敷地外周に植栽帯を配し、地域の良好な景観形成を図る。
	シンボリックな大径木を保全する	・ 大木かつ形の整ったメタセコイア、ヒマラヤスギ、サクラ合計26本をそのまま保存する。

【目標2】環境への負荷を低減する都市づくり

分野	実施項目（個別指標）	実施内容
水	雨水の地下浸透能力を強化する	・ 雨水浸透施設を設け、雨水の地下浸透能力を高める。
	上水道の節水設備を導入する	・ 自動水洗、節水型小便器を設置し、水の省資源化を図る。
	（その他、敷地内での水資源の有効対策を講じる）	・ 全給水量の20%以上に井水を利用する。
エネルギー	建物外皮の熱負荷抑制に係る措置を講じる	・ 外壁に断熱性能の高い鋼板パネルを採用し、熱負荷の低減を図る。
	省エネ型の照明、空調換気、給湯設備及び動力設備を導入する	・ LED照明を採用するとともに、人感センサーにより照明制御を行うことで、エネルギー使用量の抑制を図る。
	太陽光や風力発電などの再生可能エネルギーを利用する	・ 屋上に定格出力1,344kWの太陽光発電設備を設置する。
資源循環	耐久性や更新性の向上など、建築物の長寿命化に係る措置を講じる	・ 建築基準法に定められた基準値の1.5倍の耐震性を確保し、建物の長寿命化を図る。
	設備の維持管理対策・更新性等の措置を講じる	・ OAフロアを採用し、将来の可変性に配慮する。
	建築物、外構等にリサイクル材を使用する	・ エコマーク認定品やグリーン調達適合品のリサイクル材を使用する。

【目標3】環境とのバランスのとれた交通計画による都市づくり

分野	実施項目（個別指標）	実施内容
交通	施設の整備規模に応じた駐・停車、駐輪スペースを確保する	・ 利用者のための適切な量の駐車、駐輪スペースを確保するとともに、荷捌き用車両のための駐車スペースを確保する。
	自転車・歩行者空間を整備する	・ 自動車交通と分離された自転車及び歩行者空間を整備する。
	公共交通への近接性を確保する	・ 事業実施箇所は最寄のバス停から徒歩1分の場所に位置している。

【目標4】 地域アメニティを創出する都市づくり

分野	実施項目（個別指標）	実施内容
地域アメニティ	地域景観に配慮し、電線の地中化や建築物等の高さ、形状、色等の工夫をする	<ul style="list-style-type: none"> ・ グレーを基調に白をアクセントに用いたシンプルなカラー計画で、周辺の風景との調和を図る。
	利用者が安心して過ごせるよう、地域の防災・防犯対策に係る取組を実施する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害対策として非常用発電機と井水利用設備を設置する。
	利用者が健康・快適に過ごせる環境づくりに係る取組を実施する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 休憩室を設置し、利用者が快適かつ健康的に過ごせる環境を確保する。